

# 真龍小便り



真龍小学校の子ども

つながりを求める子  
かかわりを求める子  
納得を求める子



平成30年11月27日発行 No.10

## 読書の秋 (いまごろですか)

校長 武田 昌彦

今年の北海道は例年より初雪の観測確認が遅く、132年ぶりの遅さだと言うことです。飛んでいた雪虫もどこかに行ってしまいました。子ども達は、学習発表会も終わり一年の中で一番落ち着いて教科の学習に集中できる時期です。差し迫った行事がない分、私個人は少々遅い「読書の秋」を楽しんでいます。今読んでるのは1年以上も前に購入した本です。思った以上に人物像や背景が複雑で話の進むテンポが遅いため読むスピードもつい遅くなり、1ページ5～10分かかってしまいました。楽しいという気持ちもあまり感じず、半分読むのに1年もかかってしまいました。後半に入り、徐々にテンポよく読めるようになり1ページ1分程で楽しく読んでいます。いい本と出会うと読書が楽しくなります。とても気に入っている本があるのですが、3年前に購入した、500ページ程の本です。とてもおもしろく3日ほどで読んでしまいました。子どもの勉強もそうですが、興味と意欲があれば集中力が上がります。その本というのは「写楽」について書いたフィクション（空想小説）です。「写楽」という人物の謎に迫るストーリーは読んでいて引き込まれ、調べ上げたであろう資料には納得させられるばかりでした。「写楽の謎に迫る」という本は数々ありますがきっと「写楽」はこの人物であろう、と完全に信じ込ませる力をこの本は持っていました。今後も「龍馬暗殺の謎」や「卑弥呼・邪馬台国の謎」、「明智光秀謀反の謎」など、知られざる謎に迫っている本でわくわくしながら新しい知識を得たいと思っています。

自分から本を読もうと思ったのはいつ頃だったのか覚えていません。しかし、小学生の頃「椋 鳩十」に感動したことを覚えています。「シートン動物記」も夢中になりました。中学生の時、学校の図書館の「SF小説」を全て読んだこともありました。調子に乗り「源氏物語」に挑戦。10ページも読めず断念。何を書いていたか全く分かりませんでした。数年後「現代訳で読みやすい」と表紙に有り。再び挑戦。無理に読んだというだけ。読みやすいと書いてありましたが難しすぎて分かりませんでした。働くようになって再び挑戦。今度は本屋さんで中身を少々立ち読み。これなら分かるぞ、と3度目の挑戦。やっと読み終えることができました。無理だと決めつけずに読んで良かったと思います。そして、読む本はしっかり調べる物だと知りました。

本来読書は娯楽です。ですから一生懸命読んだり、他人に言われて読む物ではないのです。楽しく読んでいつの間にか心や人生が豊になれば良いのです。本からは「ことば」を覚え、「ことば」を大切にすることを教えてもらえることがあります。

今年より本校には学校司書の小島さんが着任しています。おかげで図書室の展示（飾りや本の紹介など）などが大きく変わり、とても居心地の良い空間になっています。もちろん本には詳しいので子ども達にとって本との出会いを助けてくれる存在です。子ども達には感性豊かに言葉を遣えるよう、いい本とたくさんのお会いをしてほしいと願っています。

ご家庭でも読書のしやすい環境作りと本との出会いにご協力下さい。

## 12月のこよみ

日	曜	
1	土	
2	日	
3	月	CRT厚岸町学力調査 図書返却(~7日)
4	火	絵本箱読み聞かせ かぜ調べ 12/3(月)~
5	水	運動の日
6	木	ブックトーク(4年)
7	金	特別日課 クラブ⑦ ブックトーク(3年)
8	土	
9	日	
10	月	時数確保日
11	火	ブックトーク(5年) 生きがい大学交流(3年)
12	水	ブックトーク(6年)
13	木	大掃除週間(~12/21)
14	金	特別日課 委員会⑧
15	土	
16	日	
17	月	朝会(保健委員会) 冬休み図書貸出(低)
18	火	冬休み図書貸出(中)
19	水	冬休み図書貸出(高)
20	木	
21	金	特別日課 クラブ⑧(最終)
22	土	
23	日	天皇誕生日
24	月	振替休日
25	火	後期第一ステージ終了 朝会
26	水	冬季休業開始
27	木	厚岸町子ども未来ミーティング
28	金	
29	土	年末休業
30	日	年末休業
31	月	年末休業

本校卒業生の佐藤龍世さんがプロ野球チームの西武から7位指名されました。しかもピョンチャン五輪のスピードスケートで金メダルを獲得した佐藤綾乃さんはいとこということで、本校卒業生のお二人の快挙に本校としても喜びいっぱいです。フットサルチームのエスポラーダの宮原さんも同級生ということで、3人の今後の活躍が楽しみです。

# ネットトラブル未然防止のために！

11月4日に標茶小学校を会場に釧路P連研究大会・母親大会が行われました。参加下さった皆様大変ありがとうございました。さて、その中で釧路教育局より「子どもたちをネットトラブルから守るために」という内容の情報提供がありました。ネットの問題は危険サイトに子どもが勝手にアクセスしてしまうことはもちろんのこと、最近ではむしろ女子高生になりすました一般男性にSNSを通して画像を拡散されてしまったり、性犯罪被害に遭うなど対人的なトラブルが増えています。ゲーム機もネット接続できるものは同様の危険があります。それらネットトラブルの恐ろしさについていくつかの実例を交えて指摘されたあと、家庭でのルール作りの重要性について説明がありました。参考までに紹介します。

## 【ネット接続に関する家庭でのルール作り 5つのポイント】

- ① 子どもからどのように使いたいのか聴く
- ② 保護者から心配している点を伝える
- ③ どのようなルールが必要か一緒に考える
- ④ 定期的にルールが守れているか確認する
- ⑤ 守れていなければ、もう一度ルールを見直す



大切なのは⑤のルールを守れていないときの対応です。そこで禁止にしてしまったり、取り上げてしまうなどの罰を与えると、関係性が悪くなることでその後子どもはルールに従わなくなるばかりか、友達の家などで親に内緒でネット遊びをする可能性もあります。信頼に基づく取組が何よりも重要です。だから、守れなかったときは、「どんなルールだったら守れそう」かももう一度考えさせることが大切です。あくまでも本人に自己決定させるのです。そして、ルールは言葉だけの約束にするのではなく、紙に書いて冷蔵庫に貼るなど、「見える化」することがポイントになります。以上が釧路教育局からの情報提供でした。

ますますネット社会が進み、トラブルも多様化してきています。なりすまし詐欺やゲームの課金等の金銭トラブルも深刻化しています。ネットトラブルは保護者が子どもへどう関わるかによって、減らしたり、無くしたりすることが可能です。ネットトラブルは金銭や交友関係のトラブル、性被害等の重大事故に発展する危険性をはらんでいるだけに、小学生段階ではスマホ・ゲーム等、ネットにつながる道具を与えない・使わせないという選択肢もありえます。もちろん与える与えないはご家庭の判断ですが、与える場合は危険性をしっかり認識し、例えば上に示したような家庭でのルールをお子様と一緒に作るなど十分配慮をお願い致します。

## 平成30年度社会を明るくする運動標語 いじめ・非行防止部門で6年生林田瑠花さんが優秀賞！

育成センターだより11月号で紹介されていましたが、紹介された標語に一部誤りがありました。正しくは「見逃すな 友達・仲間の SOS」です。改めて、おめでとうございます。

### 北海道子ども相談支援センター相談窓口！

道教委では下のリーフレットの内容で相談窓口を設けています。気軽にご活用下さい。

かけがえのない  
あなたの命を守りたい  
話そうよ、ひとりで悩まずに  
子ども相談支援センター

- あなたの悩みをきいてください。
- 相談費もかかりません。
- 秘密を守ります。
- 電話でも来所でも大丈夫です。

● いじめられている  
● いじめられている友達を助けたい  
● 学校へ行きたくても行けない  
● 友だちとの関係や、家族との関係で悩んでいる  
● 学校の勉強や、進路について悩んでいる など

0120-3882-56 (無料)  
※毎日24時間対応

メール相談受付  
doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp

※通話料、送料はかかりません。郵送の場合は送料がかかります。  
※お問い合わせは、道教委のホームページをご覧ください。

北海道教育委員会 青少年相談支援センター 〒059-8501 釧路市中央2-3-9 3階 377-110

道庁の施設に準じて、以下の電話番号もご利用いただけます。

児童虐待の相談窓口 24時間受付 道庁児童相談センター(115)	子どもの大塚110番 0120-007-110 110番通報、児童虐待相談センターに連絡する場合は、児童相談センターへご連絡ください。	少年相談110番 0120-877-110 110番通報の110番センターへ
--	---	--

### 12月のおすすめ本

担当：学校司書 小島郁子

### 『内科・オバケ科 ホオズキ医院 学校のオバケたいじ大作戦』 富安陽子 作 小松良佳 絵 (ポプラ社)

ひょんなことから、オバケの世界に入り込んだキョーヘー。オバケ科の専門医、鬼灯十郎（ほおずきじゅうろう）先生からむりやり助手を頼まれて以来、次々と大変な目にあうことに！今回はなんと、キョーヘーの小学校の内科検診に、鬼灯先生がやってきた！学校に入り込んだオバケを探しにきたとのこと。キョーヘーはもちろんオバケ探しを手伝わされることに。そして、そのオバケの正体とは！！

学校とオバケは切っても切れない縁があるようで、学校の怪談の本がたくさんあります。子どもたちに人気があるのは直接的でわかりやすい怪談シリーズですが、この富安陽子さんの書く物語には、読んでいく内にゾクゾクしてくる静かな怖さがあり、じっとり油汗が滲んでくるような描写が秀逸です。史実や、古い伝承を下地にしたお話も多く、歴史への興味もかき立てられます。富安作品は情報館にも所蔵が多くあります。ぜひ、お子さんと一緒に読んで、ゾクゾクしてください。このホオズキ医院シリーズは学校図書室にも所蔵があります。

